

第 42 回歴史地震研究会(豊岡大会)のお知らせ(第 2 報)

第 42 回歴史地震研究会(豊岡大会)のプログラムが決定しました。講演要旨送付, 懇親会, 巡検の参加申込み締切は 7 月 31 日(木), 研究会参加申込の締切は 8 月 31 日(日)です。

1. 日程

2025 年 9 月 27 日(土)～ 29 日(月)

27日(土) 研究会(口頭発表), 公開講演会, 懇親会 (朝 9 時半開場, 10 時開始予定)

28 日(日) 研究会(口頭発表・ポスター発表), 総会 (朝 9 時開場, 9 時半開始予定)

29 日(月) 巡検 (朝 9 時大学集合, 15 時頃大学解散予定)

2. 開催場所(研究会・公開講演会・総会)

芸術文化観光専門職大学 <https://www.at-hyogo.jp/>

兵庫県豊岡市山王町 7-52 (JR 豊岡駅より徒歩 10 分)

3. 懇親会

会場:アールベルアンジェ豊岡 (大学より無料送迎バス有り)

4. 巡検

- 城崎・豊岡市街地をバス・徒歩にて巡検します (詳細と注意事項はプログラムに記載)
- 豊岡駅 15:41 発の特急で京都・大阪方面に戻れます
- 昼休憩時間がありますので昼食はその間に各自でお取りください

5. 宿泊施設

- 豊岡駅周辺にホテルがありますが予約がとりにくい状況となっております
- 近隣の JR 駅(豊岡駅 30 分圏内:城崎温泉駅, 和田山駅)周辺のホテルをご検討ください

6. 参加費

- 研究会:会員 1,000 円 非会員 2,000 円
- 懇親会:一般 7,000 円 学生 4,000 円
- 巡検:3,500 円 (※昼食代は含みません)
 - ✓ 事前決済を予定しております。決済方法および決済締切は申込みを済ませた方に後日連絡いたします
 - ✓ 会場での現金決済については原則として行わない予定です
 - ✓ 冊子体の要旨集は発行しません
 - ✓ 発表するためには参加費ほか 2025 年度会費が支払われている必要があります

7. 研究会・懇親会・巡検の参加申し込み

- 申し込みフォーム <https://forms.gle/yzfWJWeJfy9DSLm98>
- 懇親会と巡検の申し込み締切は 7 月 31 日(木)です
- 研究会参加の申し込み締切は 8 月 31 日(日)です

8. 講演要旨について

- 発表 1 件につき A4 サイズ 1 ページ(厳守)のカメラレディ(そのまま印刷可能な)原稿のご用意をお願いします
- 歴史地震研究会ホームページからダウンロードした標準フォーマット(Word ファイル)を書き換える形で原稿を作成してください
- 要旨の標準フォーマット <https://www.histeq.jp/docs/AbstractFormat.docx>
- Word ファイルを電子メールで提出してください(やむを得ない場合はご相談ください)
- 7 月 31 日(木)必着とします
- 原稿の送付先 豊岡大会行事委員会 rekishi2025@histeq.jp

9. 口頭発表要領

- 口頭発表は各自の PC を会場のプロジェクターに HDMI(タイプ A)で接続してください
- 変換ケーブル等が必要な方は各自ご用意ください
- 発表時間は 12 分 質疑応答が 3 分です

10. ポスター発表要領

- ポスターは初日から掲示できます。
- A0 サイズ縦長を推奨します(横長は対応しておりません)。 ※変更の可能性あり
- 掲示用の用具(画鋏等)は会場に用意しております。

11. 公開講演会

27 日(土) 15:00-17:00 参加費無料

- 植村 善博氏(佛教大学名誉教授)「北但馬地震による豊岡の被害と復興計画」
- ハミルトン 墨氏(一般社団法人マチノイト代表)「豊岡復興建築群について」
- 松岡 久雄氏(豊岡市危機管理部課長)「豊岡市防災について(仮)」

第42回歴史地震研究会(豊岡大会)プログラム

9月27日(土)

研究発表会 開場・受付開始 9時30分

開会・諸注意伝達等

口頭発表セッションⅠ 10:00-11:30

O-01 松浦律子

1891年濃尾地震の余震 revisited

O-02 加納靖之・大邑潤三

歴史地震の地殻変動のデータベースをつくる

O-03 室谷智子

1900年巴里万博で展示された地震学資料

O-04 三村暉・弘田尚也・北村昌卓・平井敬

かわら版史料「諸国大地震大津波末代噺」を用いた防災教育の実践

O-05 中村操

1894年明治東京地震の被害調査

O-06 都司嘉宣・行谷佑一

宝暦元年(1751)および弘化四年(1847)の越後頸城地震の詳細震度分布と津波

昼休み<1時間 30分>

口頭発表セッションⅡ 13:00-14:30

O-07 石辺岳男・西山昭仁・原田智也

『竹斎日記稿』における有感記録の抽出とその記録特性に関する検討

O-08 新谷勝行・松井敬代・阿部江利

北但馬地震火災殉難者精霊塔建立について

O-09 寺谷嘉泰

1925年北但馬地震における救済融資

O-10 西山昭仁・原田智也・石辺岳男

1830年文政京都地震の震源断層の検討

O-11 服部健太郎

明治初期(1868-1873)の神戸・長崎の英字新聞に記載された西日本の有感地震

O-12 穴倉正展・行谷佑一

1703年元禄関東地震で相模湾西岸地域は隆起したか？

公開講演会 15:00-17:00

- 植村善博氏(佛教大学名誉教授):「北但馬地震による豊岡の被害と復興計画」
- ハミルトン墨氏(一般社団法人マチノイト代表):「豊岡復興建築群について」
- 松岡久雄氏(豊岡市危機管理部課長):「豊岡市防災について(仮)」

懇親会 18:00-20:00(市内の会場に移動します)

9月28日(日)

口頭発表セッションⅢ 09:30-11:00

O-13 森脇美沙

鉄道省外極秘資料『鳥取地方震害調査報告』に記された1943年鳥取地震における鉄道被害

O-14 大本敬久

宝永・安政・昭和南海地震における道後温泉(愛媛県)の湧出停止・再開経過

O-15 今井健太郎・堀高峰

1854年安政南海地震の波源断層モデル再考

O-16 石橋克彦

13世紀の南海トラフ地震の探索(1):1257年正嘉地震は可能性が低い

O-17 堀高峰・尾池和夫

西南日本の地震活動期と南海トラフ発生時期

O-18 井村隆介

鹿児島県奄美大島における1960年チリ地震津波波高

総会 11:00-12:00

昼休み<1時間 30分>

ポスターセッション 13:30-14:30

P-01 原田智也・西山昭仁・石辺岳男

京都・奈良で有感となる地震の震源・規模の検討

P-02 日下部優佳・石瀬素子

1944年左沢地震(山形県)に関する調査

P-03 神馬菜々美・鈴木毅彦・加納靖之・大邑潤三

歴史資料を活用した鳥海山1800-1804年噴火の再検討

P-04 小松原琢・大邑潤三

1930年北伊豆地震による断層直近における人的被害状況と変位量の関係(予察)

P-05 北原楓梨・徳田光希・荒井賢一

千葉県印西市に残る 1923 年関東地震の記録

P-06 大邑潤三・北原糸子・北本朝展・加納靖之・橋本雄太

1923 年大正関東地震による死亡者の空間分布について

P-07 青島晃

通信調査に基づく 1891 年濃尾地震による三重県・滋賀県の噴水噴砂発生地域とその地形・地盤条件

P-08 久永哲也・内田篤貴・澤入雅弘・松下政史・小川典芳・黒川知萌巳・山中佳子・都築充雄

東海地域における南海トラフ沿いの歴史地震津波に関する現地調査結果について

(その 7)

P-09 藤本悠吾

先島諸島における津波と伝承の関連性

P-10 伊尾木圭衣・山下裕亮

宮崎市野島での津波被害

P-11 中村大・林能成

震度分布にもとづく震源・マグニチュード推定法の精度評価

休憩<15 分>

口頭発表セッションⅣ 14:45－16:15

O-19 徳田光希・北原楓梨・荒井賢一

埼玉県所沢市に残る日記から読み取る 1898 年～1924 年に発生した被害地震と日記の資料価値の探求

O-20 植竹富一

電気学会雑誌における関東大震災記事

O-21 水田敏彦・鏡味洋史

秋田から見た 1923 年関東大震災－大仙市公文書館収蔵資料の内容紹介－

O-22 武村雅之

昭和東南海地震の被害の背景：軍需工場に対する誤認や誤解

O-23 山中佳子

南海地震の震度から推測される破壊過程

O-24 松岡祐也

地震史料集未掲載の『義演准后日記』文禄伏見地震関連記事

休憩<15 分>

口頭発表セッションV 16:30-17:45

O-25 鏡味洋史・水田敏彦

1952 年十勝沖地震直後の踏査報告の足跡をたどって

O-26 林 豊

1651 年ペルー・チリ北部の地震による日本への津波到達の真偽

O-27 蝦名裕一

山奈宗真の明治三陸地震津波における沿岸調査について

O-28 佐々木 淳

寛政五年一月七日(1793 年 2 月 17 日)の地震津波にかかる史料について

O-29 佐竹健治・室谷智子

韓国東海岸における歴史津波と日本海東縁部の断層モデルからの津波計算

9 月 29 日(月)

巡検 (1925 年北但馬地震の痕跡・復興建築群など)

9 時大学集合 15 時大学解散(予定)

- 定員は 40 名で大型バスを予定しています
- 大学集合時に荷物を預けることができます(スペースに限りがあります。管理責任は負いかねますので貴重品は各自で管理してください)
- 豊岡中心部はガイド付き徒歩移動ですので歩き易い靴でご参加ください
- 大学解散後駅まで徒歩 10 分程度かかります
- 豊岡駅の「みどりの券売機」は数が少なく「みどりの窓口」はありません
- 「えきねっと」で予約された場合「みどりの券売機」で紙の切符の受け取りはできません
- 自動改札機が導入されておらず特急は本数が少ない状況です
- 帰路の切符等は巡検参加前に購入し発券しておくことを強くお勧めします
- 巡検中に揃って1カ所で昼食をとれませんので巡検費に飲食費は含みません
- 昼食は各自市内の飲食店(案内を配布予定)に分散して済ませて頂く予定です